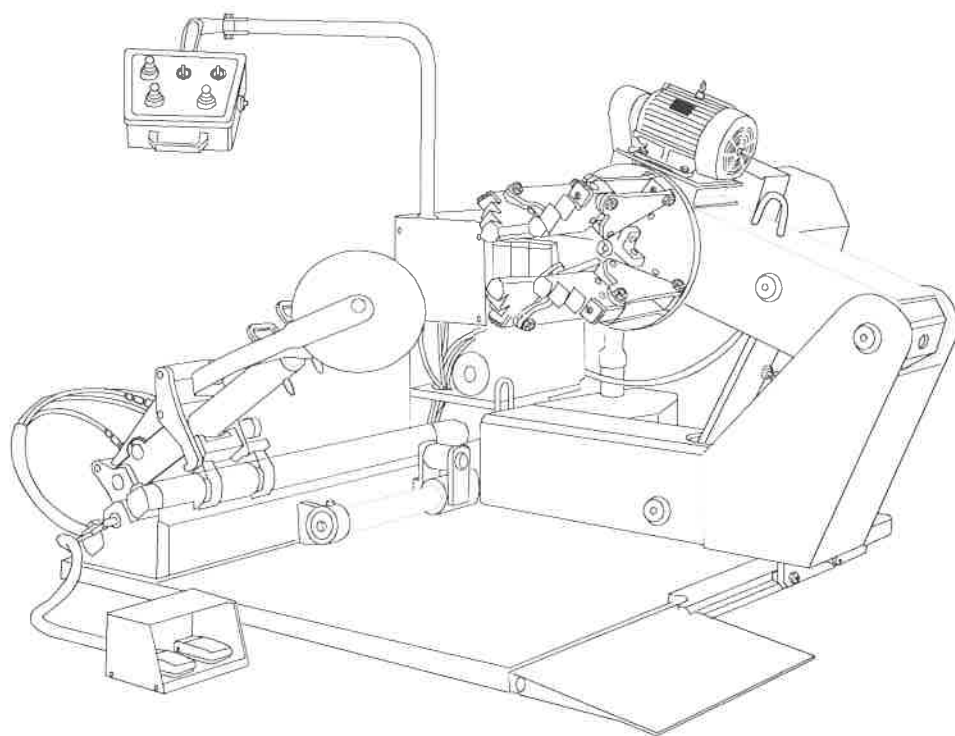


# 取 扱 説 明 書

## OR.TB.LT.TIRE CHANGER ビッグマスター

OR-707TA型



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求して下さい。



警告

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用して下さい。  
この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管して下さい。



小野谷機工株式会社

# 目 次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| <b>1. まえがき</b>              | 1  |
| <b>2. 使用目的</b>              | 1  |
| <b>3. 危険・警告・注意事項</b>        | 1  |
| (1) 一般的な注意事項                | 2  |
| (2) 設置上の注意                  | 2  |
| (3) 警告ラベルの貼付位置・内容           | 3  |
| <b>4. 各部の名称と機能</b>          | 5  |
| (1) 各部の名称と機能                | 5  |
| (2) 電気回路図                   | 6  |
| (3) 油圧回路図                   | 6  |
| <b>5. 取り扱い方法</b>            | 7  |
| (1) 始業点検                    | 7  |
| (2) 操作スイッチと各部の動作            | 7  |
| (3) チャッキング                  | 10 |
| (4) ホイールのドロップ位置とチャッキング      | 11 |
| <b>6. 操作手順</b>              | 12 |
| (1) タイヤ脱着作業時の警告・注意事項        | 12 |
| (2) T・B・L Tチューブレスラジアルタイヤの脱着 | 13 |
| (3) リング付きタイヤの脱着             | 16 |
| (4) ワンピースホイールのタイヤ脱着         | 20 |
| <b>7. メンテナンス</b>            | 22 |
| <b>8. 作動不良時の処置</b>          | 23 |
| <b>9. 仕様</b>                | 25 |
| <b>10. 製品保証規定</b>           | 26 |
| (1) 保証規定                    | 26 |
| (2) 保証請求方法                  | 26 |
| (3) アフターサービスについて            | 27 |
| (4) 設置(据付)及び移動について          | 27 |

## 1. まえがき

この度は弊社の大型タイヤチェンジャー「ビッグマスター」をお買上頂き誠にありがとうございます。  
させていただきます。

本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を注意深く読みよく理解してからご使用下さい。  
取扱説明書に記載されている注意事項および使用方法をよくご理解いただかないと本機の適  
正な能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので、  
充分ご理解のうえ正しくご使用下さい。

また、この取扱説明書はいつでもご使用になれますように大切に保管して置いてください。

なお、取扱説明書・注意ステッカー等は大切に保管・貼付していただき、万一紛失、汚損された  
場合には速やかにご購入のうえ、正しく保管・貼付してください。

## 2. 使用目的

このタイヤチェンジャーはOR、AG、TBおよびLTタイヤの交換を行うことができるタイ  
ヤチェンジャーです。

## 3. 危険・警告・注意事項



### 警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を  
使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のため重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解  
してからご使用してください。



### 危険

……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う  
危険が切迫して生じることが想定される場合。



### 警告

……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う  
恐れが想定される場合。



### 注意

……取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定  
される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

## (1)一般的な注意事項

- ①取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用してください。
- ②このチェンジャーの操作は、使用方法を熟知した人以外は使用しないでください。
- ③始業点検及び定期点検は、取扱説明書の本文に従って、必ず実施してください。
- ④運転時に異音発生等、普段と異なる状態の時は、チェンジャーの使用を禁止し、お買上の販売会社に連絡して、点検を受けてください。
- ⑤本機は防水仕様になっていませんので、屋外設置や水による洗浄等は避けてください。
- ⑥このチェンジャーをタイヤ交換以外の目的に使用しないでください。

## (2)設置上の注意

- ①本機内部には多くの電気部品を使用しており、水気は故障の原因となります。  
本機の設置場所は下記のところは絶対に避けてください。
  - ・雨水のかかる場所
  - ・水をよく使い湿気の多い場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・特にほこりの多い場所
  - ・振動の多い場所
- ②設置の際に感電事故の防止のために必ずアース設置を施してください。  
尚ガス管などの爆発の危険があるものには絶対に接続しないでください。
- ③3相200Vの配線工事は必ず動力工事有資格店にご依頼ください。  
電源は本機の近くに必ず 3.7kW以上の専用ブレーカを設置してそこから配線してください。



### 警告

**お客様の電源に進相コンデンサーを御使用の場合は、必ず進相コンデンサーを取りはずして下さい。チェンジャー内部の電子回路が破損する恐れがあります。**

## (2) 警告ラベルの貼付位置・内容

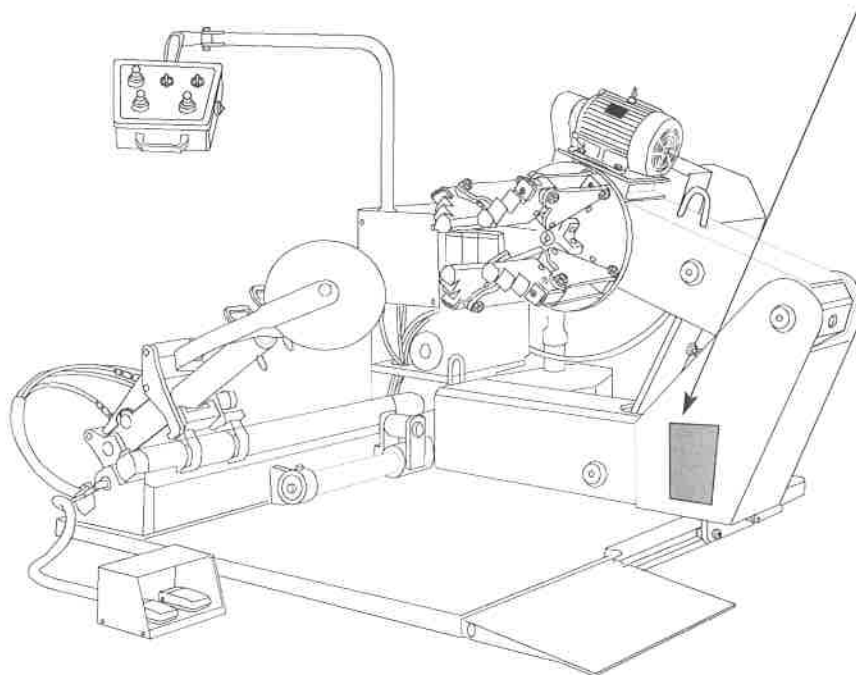


### 注意

警告ラベルは大切に使用してください。剥がれたり汚損した場合は速やかに購入のうえ、正しく貼付してください。

### 警告ラベル貼付位置

|  警告                                                                      |                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <p>チャックを固めると自他、必ずリフトまたはベースで乗れること。<br/>タイヤの事で押入で倒れないように注意すること。</p>       |  <p>作動中のチャック部には手を触れないこと。<br/>指まれて大怪我をする恐れがあります。</p>                 |
|  <p>リフトまたはアーム下降時には下に足を置かないこと。<br/>足などを挟まれて大怪我をする恐れがあります。</p>             |  <p>ビードクリーム塗布、固り止めの最中時には必ずタイヤ回転を止めること。<br/>巻き込まれて大怪我をする恐れがあります。</p> |
|  <p>機械にチャッキングしたまま、タイヤへのエア充填(注入)は絶対に行わないこと。<br/>エア注入は空気ゲージで確認してください。</p> |  <p>取扱説明書をよく読み理解してから使用すること。<br/>無操作により、誤作動の可能性があります。</p>           |
|  <p>操作方法を熟知した人以外は使用禁止。<br/>無操作により、誤作動の可能性があります。</p>                    | <p>ここに示す警告事項は、事故の取りまわし方法を述べた場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される事柄です。</p> <p>警告ラベルは、大切に使用してください。はがれや汚損が確認された場合、お買い上げの販売店から購入の上、正しく貼付してください。</p>                 |





## 警告



**チャックを緩めるときは、必ずリフトまたはベースで受けること。**

タイヤは手で押えて倒れないように支えること



**作動中のチャック部には手を触れないこと。**

挟まれて大怪我をする恐れがあります。



**リフトまたはアーム下降時には下に入れないこと。**

足などを挟まれて大ケガをする恐れがあります。



**ビードクリーム塗布、回り止めの脱着時には必ずタイヤ回転を止めること。**

巻き込まれて大ケガをする恐れがあります。



**機械にチャッキングしたまま、タイヤへのエア充填(注入)は絶対に行なわないこと。**

エア注入は安全ゲージの中で行ってください。



**取扱説明書をよく読み理解してから使用すること。**

誤操作により、思わぬ事故の可能性あります。



**操作方法を熟知した人以外は使用禁止。**

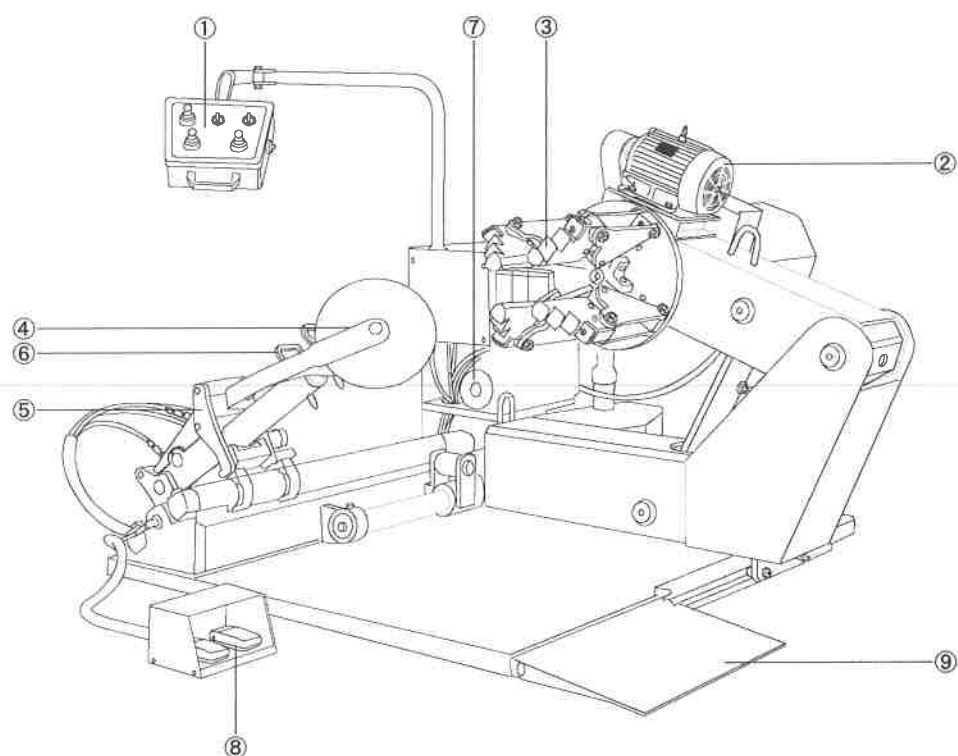
誤操作により、思わぬ事故の可能性あります。

ここに示す警告事項は、機械の取り扱い方法を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される事柄です。

警告ラベルは、大切に使用してください。はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。

## 4. 各部の名称と機能

### (1) 各部の名称と機能



| No. | 名 称             | 機 能         |
|-----|-----------------|-------------|
| 1   | 操 作 ス タ ン ド     | 本機の操作を行います。 |
| 2   | タイヤ回 転 モ ー タ ー  | タイヤ回転用      |
| 3   | チ ャ ッ ク         | ホイール固定部     |
| 4   | デ ィ ス ク ツ ー ル   | タイヤ脱着用ツール   |
| 5   | ツ ー ル フ ッ ク     | ツール固定用爪     |
| 6   | ツ ー ル ロ ッ ク ピ ン |             |
| 7   | 油 圧 ユ ニ ッ ト     | 油圧発生装置      |
| 8   | フ ッ ト ス イ ッ チ   | タイヤ回転用足踏ペダル |
| 9   | シ ュ ー タ ー       |             |

## ②チャック

チャックを広げる時は「開」側に、閉める時は「閉」側にスイッチを操作します。



### 警告

**ホイールをチャッキングしたまま不用意にチャックを緩めないでください。ホイールが落下し思わぬ事故につながるおそれがあります。**

## ③ツール回転

ツールの反転時、本スイッチを操作します。



### 注意

**ツール反転時、ツールは必ずロックを解除して起こした状態で行ってください。ロックしたまま無理に反転をさせようとするするとツール部破損の原因になります。**

**また必ず反転が止まるまで(180度の位置まで)動作させてください。反転が途中のままツールを下降すると本体のツールガイド部にツールがきちんと納まりません。**

## ④ツール

ツールのロック、解除および前後移動時、各方向にスイッチを操作します。



### 警告

**ツールの上下動作中、動作範囲の中には入らないでください。ツールと接触し重大な事故につながるおそれがあります。**



## 注 意

ツールロック時は、ツールが確実にロックされていることを確認してください。  
ロックが不完全なまま、タイヤ脱着を行うとツール部が破損するおそれがあります。

### ⑤タイヤ

チャック部の上下および前後時各方向にスイッチを操作します。



## 警 告

チャック部を下降する時は、下側に足を入れないように注意してください。アームと本体間に足をはさまれるおそれがあります。

### ⑥タイヤ回転速度切換スイッチ

ホイールチャック部の回転速度を低速・中速・高速の3段階に選択できます。

### ●フットスイッチ

ホイールチャック部の回転用スイッチです。左側フットスイッチは左回転用、右側フットスイッチは右回転用です。



## 警 告

ビードクリーム塗布、ホイール回り止め装着時等は必ずタイヤ回転を止めてから行ってください。

## 6. 操作手順

### (1) タイヤ脱着作業時の警告・注意事項



#### 警告

- タイヤ内のエアは必ず完全に抜いてからディマウント作業を始めてください。
- ビードクリームの塗布時、ホイール回り止めの脱着時等は必ずタイヤの回転を止めて行ってください。回転したまま行くと機械に巻き込まれ重大な事故につながるおそれがあります。
- 作業を途中で中断する場合や、作業が終了した場合は、アームを最低位置まで降ろしてください。  
また、ホイールをチャッキングした状態で機械から離れる場合はタイヤをベースに接触させてください。
- タイヤを機械にチャッキングした状態でのエア充填は絶対しないでください。必ず安全ケージの中でエア充填してください。
- ツール下降時、下には絶対体を入れないでください。  
ツールと本体間に体をはさまれ重大な事故につながるおそれがあります。



#### 注意

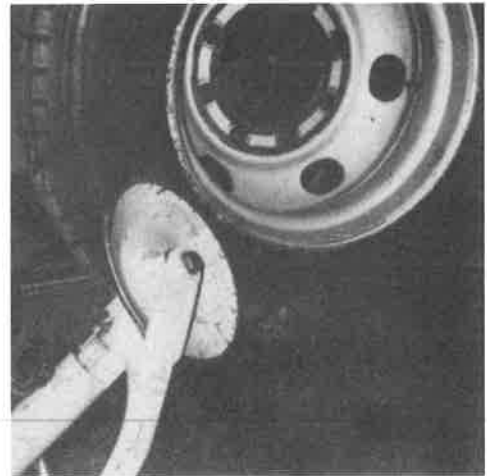
- 脱着作業時には、ディスクツールおよびタイヤ爪とホイールを接触させないでください。接触させた状態で作業するとスムーズな回転ができなくなったりまたツールやホイール損傷の原因になります。
- ツールアームのロックは確実に行ってください。また、ツールアームのロックを解除する場合は、ディスクツールやタイヤ爪がタイヤ、ホイールと接触していないことを確認してください。ツールに力をかけた状態でロックを解除しようとする重大な故障の原因になります。
- 電線の切断などによる単相運転にご注意ください。  
本機は高効率ポンプユニット(モーター、ポンプ、電磁切替弁一体型)を使用しております。単相運転などでモーターを破損した場合、油圧ポンプユニットアセンブリーの交換が必要になります。

## (2)TB、LTチューブレスラジアルタイヤの脱着

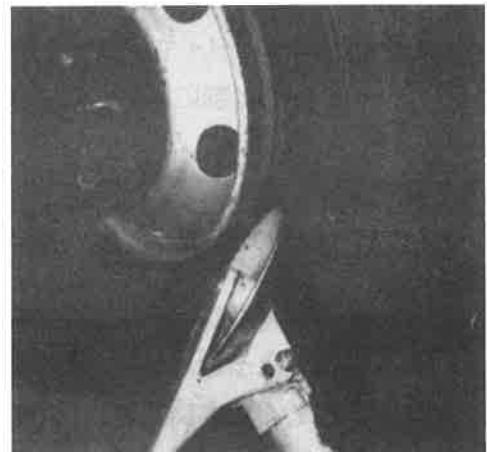
TB、LTチューブレスでバイアスタイヤの場合は、後述のワンピースホイールの方法で脱着してください。

### A. ディマウント(タイヤとホイールの分離)

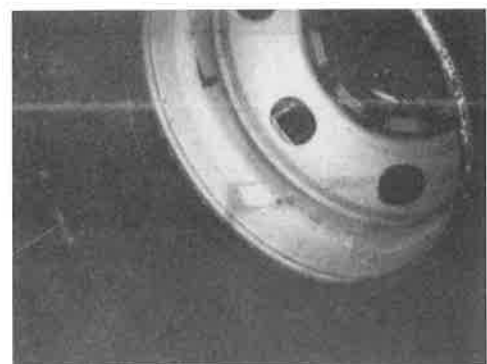
①ホイールをチャッキングしてアームを上昇させます。ツールを下降してツールフックがかかったことを確認後、ディスクとホイールの間隔が1 cm 位になるようアームの位置を調節します。タイヤを回転しながら前進させて表側ビードを落とし、ビードクリームを塗布します。



②ツール回転スイッチを操作してツールを反転し、タイヤの裏側と同様、タイヤを回転しながら後退させて裏側ビードを落としビードクリームを塗布します。



③タイヤを左回転させながら、後方へ移動し、表側ビードを押し出します。この際、ディスクと反対側のビードがホイールのドロップ部に落ちこんでいることを確認してください。



### 注 意

ディスクに対向する側のビードがホイールのドロップに落ち込まない状態で無理にビードを押し出そうとするとホイールのディスク部やビードを変形損傷するおそれがあります。

- ④さらにタイヤを左回転させながらわずかに後方へ移動しディスクがホイールフランジと裏側ビードの間からのぞいたらタイヤ移動を止め左回転してタイヤを取りはずします。



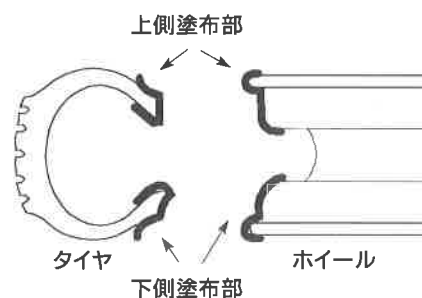
## B. マウント(タイヤとホイールの組付け)

- ①ホイールをチャッキングしてビードクリームを塗布します。  
②ビード部にタイヤクリームを塗布したタイヤをホイールの上部に斜めにかけます。



### 注 意

タイヤマウント時には必ずビードクリームを図のように、ビード部およびホイールに塗布してください。塗らずにマウントするとタイヤビード部を破損する恐れがあります。



- ③ディスクツールとホイールとの間隔がビード1枚分位になるまでタイヤを前進させタイヤを右回転させて裏側ビードを組込みます。



④ディスクツールをホイールから2 cmぐらい押し込みタイヤを右回転します。

この際、ホイールの空転を防止するため、付属のマウントクランプをホイールに取付けると便利です。



### 警告

●マウントクランプ等、ホイールの空転防止アタッチメントの脱着は必ずタイヤの回転を止めてから行ってください。回転させながら行うと機械に巻込まれ重大な事故のおそれがあります。

⑤タイヤのK点マークとホイールのバルブ位置を合わせる場合は、写真のようにアームをおろしてタイヤをベースに軽く押えつけ、ホイールを空転させて位置合わせを行います。



### 警告

チャックを緩める時は必ずアームを降してタイヤをベースに接触させ、タイヤは手で押さえ倒れないように支えてください。

### (3)リング付きタイヤの脱着

#### A. ディマウント

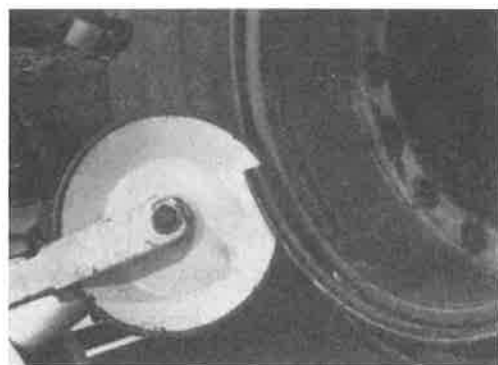
- ①ホイールをチャッキングします。ビードシートクランプをビードシートバンドのポケット部とリム間に取り付けます。

ディスクツールをサイドリングとタイヤ間にセットしタイヤを逆転します。徐々にアームを降し、ディスクをホイールに沿って中に入れ前側ビードを落します。

ビードが落ちにくい場合はクランプ部を中心にし、左右に30°～40°位正逆転を繰り返してください。



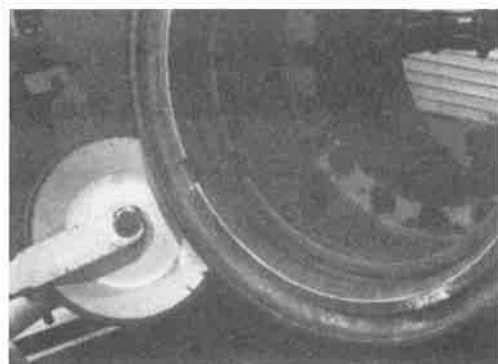
- ②ディスクツールでビードシートバンドを2cm程押込み、ロックリングの切欠き部をタイヤレバーで起こしてディスクツールの上に乗せて、タイヤを左回転してロックリングをはずします。



**警告**

**ロックリングまたサイドリングをはずす場合は必ずタイヤレバー等で飛散防止の処置をとってください。**

- ③ビードシートバンドをディスクツールの上に寄せ、タイヤを左回転させながら徐々に引出します。十分に引出したら落下に注意し、手で取りはずします。



**警告**

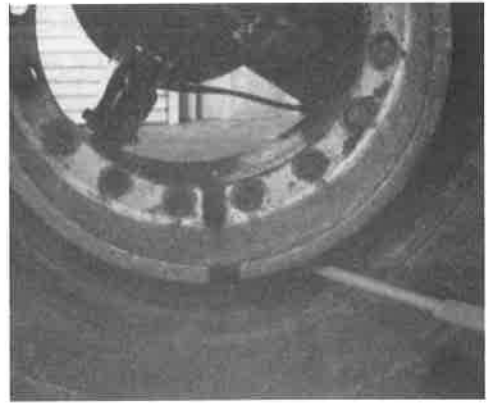
**ビードシートバンドは重量物です。足の上に落さないよう充分注意してください。**

- ④バルブを真下に配置し、タイヤレバー等でバルブをバルブ穴からはずします。



### 警告

**バルブを抜かずに裏側ビードを押出そうとするとバルブを損傷するおそれがあります。**



- ⑤ディスクツールを反転し、タイヤの裏側へ移動します。表側と同様、ディスクツールをサイドリングとタイヤ間にセットしタイヤを左回転します。徐々にアームを降しディスクをホイールに沿って中へ入れ裏側ビードを落します。



- ⑥タイヤを左回転させながら後退します。



### 警告

**ディマウントの際、タイヤ回転は必ず左回転で行ってください。右回転の場合、タイヤがホイールからはずれ転倒し思わぬ事故につながるおそれがあります。**



- ⑦タイヤがホイール巾の1/2～2/3位いまで来たらベース上にタイヤを降し、ホイール中心をタイヤの中心に合わせます。



- ⑧そのままホイールを後退させます。ホイールを回転させながら後退させるとよりスムーズに取りはずしが行えます。



## B. マウント

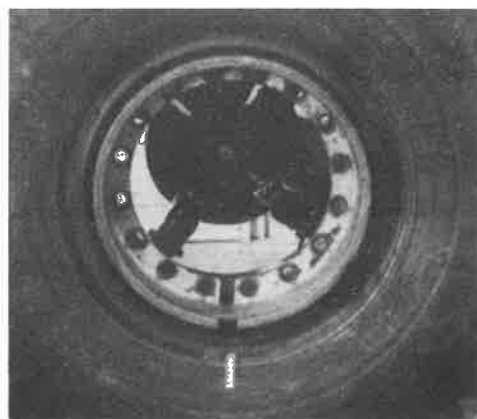
- ①ホイールをチャッキングします。  
フラップ、ビード部にビードクリームを塗布し、バルブを真下に配置します。



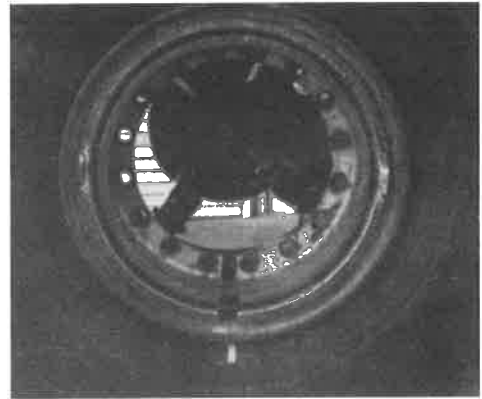
- ②タイヤの中心とホイールの中心を合わせ、ホイールを前進させます。



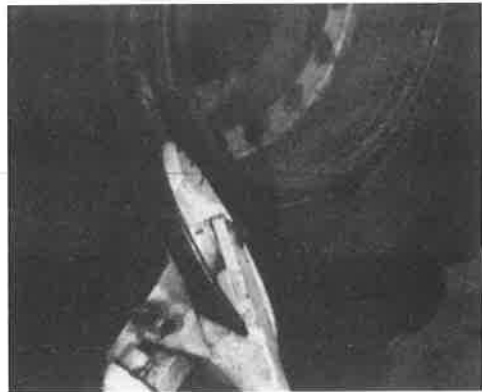
- ③ホイールのバルブ穴にバルブを通します。



- ④サイドリング、ビードシートバンドをホイールに  
かけます。  
ロックリングドライバーの溝合せをしてください。



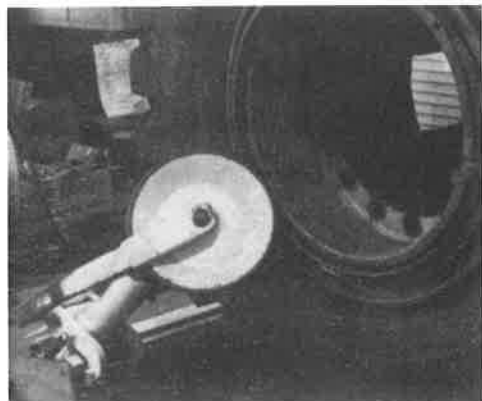
- ⑤ディスクツールを用いて、ロックリング溝(Ｏリン  
グ溝)が見えるまで、ビードシートバンドを押込み  
ます。チュープレスタイヤの場合この時点でＯリ  
ングを溝に入れます。



### 注 意

ビードを押しすぎるとバルブを破損するお  
それがあります。

- ⑥ロックリングの端部を溝に合わせタイヤを回転し  
ながらディスクツールで押込みます。



- ⑦タイヤを回転しながらディスクツールで各リング  
をよくかん合せます。



### 警 告

タイヤの前には立たないでください。  
リングのかん合が不完全な場合、リングがは  
ずれ重大な事故のおそれがあります。

## (4) ワンピースホイールのタイヤ脱着

以下の方法は、ORのワンピースホイールの他、TB、LTのバイアスチューブレスタイヤに適用します。

### A. ディマウント

①ホイールをチャッキングします。

タイヤを回転させながら裏側ビードを落とした後、ビードクリームをビード部に塗布します。



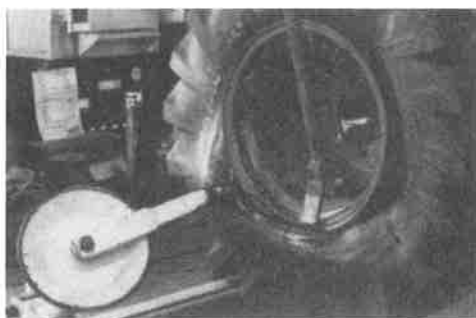
②ツールを反転して表側に移動し、タイヤを回転しながら表側ビードを落します。

ビードクリームをビード部およびホイールに塗布します。



③タイヤ爪をセットします。

タイヤを前進させホイールとタイヤ間にタイヤ爪を差込み、タイヤ爪先端部にビードを掛けます。タイヤレバーをタイヤ爪右側にセットし、タイヤを左回転して表側ビードをはずします。



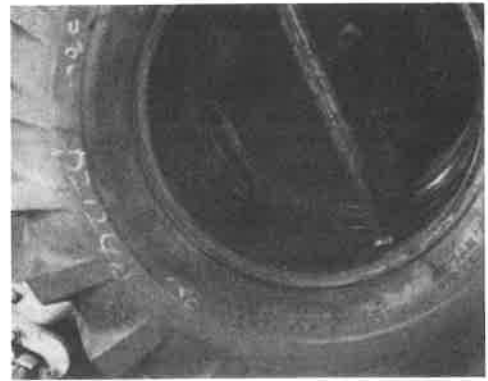
### 注 意

ホイール回転時、タイヤ爪とホイールは接触させないでください。

④チューブ入りタイヤの場合、チューブを取出します。



- ⑤ツールを反転した後、タイヤ後方へ移動します。  
タイヤの後方よりタイヤ爪を裏側ビードにかけホイールの前フランジからタイヤ爪先端が少し出る状態にします。表側と同様、タイヤレバーをセットし、タイヤを左回転して裏側ビードをはずします。



## B. マウント

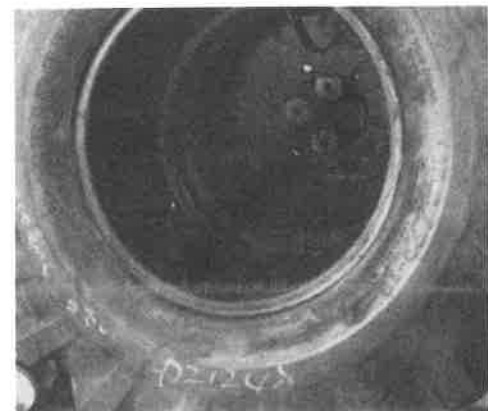
- ①マウントクランプをリムフランジ部に取付け、タイヤの裏側ビードをクランプの内側にかけます。



### 警告

マウントクランプの脱着時は必ずタイヤの回転を止めて行ってください。

- ②タイヤの後方よりタイヤ爪を裏側ビードにかけ、ホイールの前フランジからタイヤ爪先端が少し出る状態にします。  
タイヤを右回転して裏側ビードを組込みます。  
チューブ入りタイヤはこの時点でチューブを入れます。マウントクランプをはずします。



- ③タイヤ爪を反転して前方へ移動します。  
再度マウントクランプをセットし、タイヤ爪をホイールとビードの間に差込み、ビードを先端で受けます。ホイールを右回転して表側ビードを組込みます。



## 7. メンテナンス



### 危険

- 点検の際電気部品に触れる必要のある場合は、必ず電源を切ってください。  
また、元電源を入れたまま電気部品に触れる必要のある時には、端子などに触れないように十分に注意してください。



### 注意

- カバー等を外して点検を実施した場合は、必ず元通りに全ての取付けねじ等を使用して元に戻しておいてください。
- 点検の結果、異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまではチェンジャーの使用を禁止して、直ちにお買上の販売会社に連絡してください。そのままお使いになるとチェンジャーの破損および重大な事故につながる危険性があります。

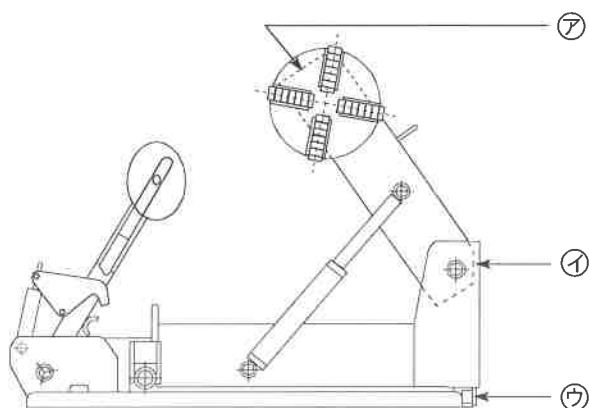
### (1) 給油箇所

○グリースニップル右図㊦～㊨

○ツールおよびアームのスライド部その他可動部には適時給油してください。

### (2) 油圧ユニット

油圧ユニット内オイルを交換、また給油する場合は当社純正のハイドロリックオイル、または市販のタービン油(ISO VG32～56)を使用してください。



### 注意

オイルの交換は1回／年必ず実施してください。  
交換時各シリンダーは一番縮んだ状態に行ってください。

## 8. 作動不良時の処置



### 注 意

異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不具合の場合は、お買上の販売会社へご相談ください。

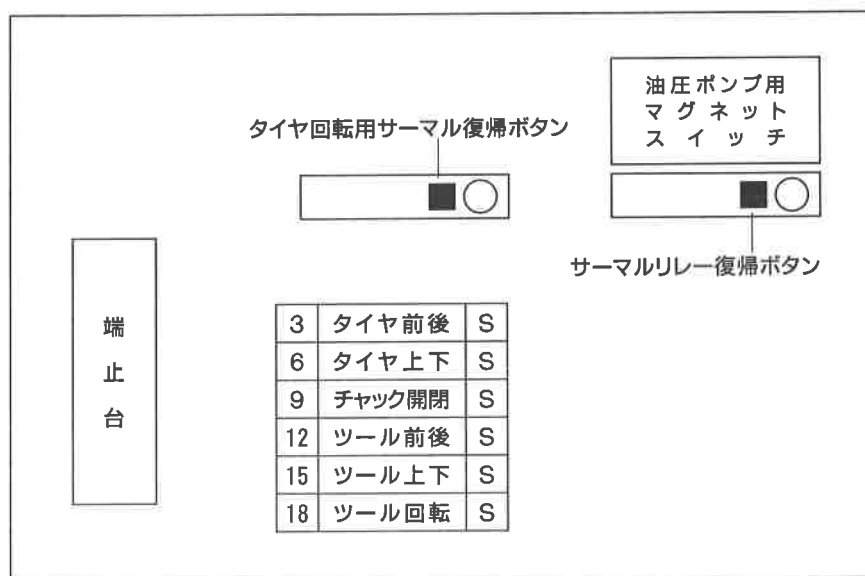
### (1) タイヤが回転しない。

- モーターが単相運転になっていないか  
電源、電源コードを調べる。
- サーマルリレーがはたらいていないか



下図■印部のサーマルリレー復帰ボタンを押してください。

サーマルリレーは作動してからしばらくは復帰しません。2～3分待ってから押してください。



コントロールボックス内部

## (2)各々の油圧シリンダが作動しない。

- ヒューズが切れていないか



ヒューズの点検・交換

各々の油圧シリンダが作動しない。

この際、図の電磁弁横にあるピン(両端にあります)  
を押せば手で油圧シリンダを作動できます。故障の際、機械を動かす必要のある場合電磁弁とシリンダの関係は上から

チャック開閉

タイヤ上下

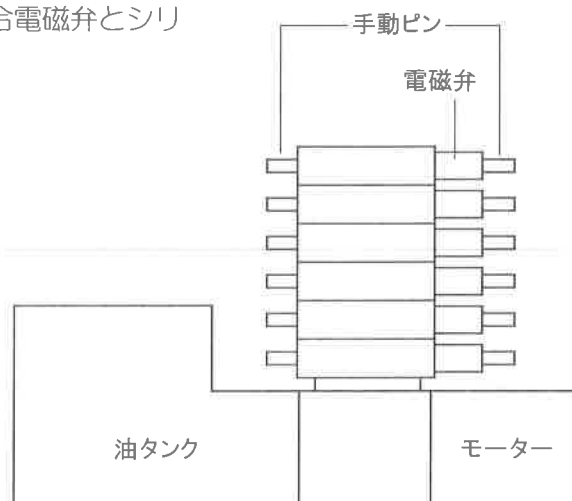
ツール回転

ツール上下

ツール前後

タイヤ前後

の順になっています。



## (3)すべての油圧シリンダが作動しない。

- 配線が逆相になっていないか。

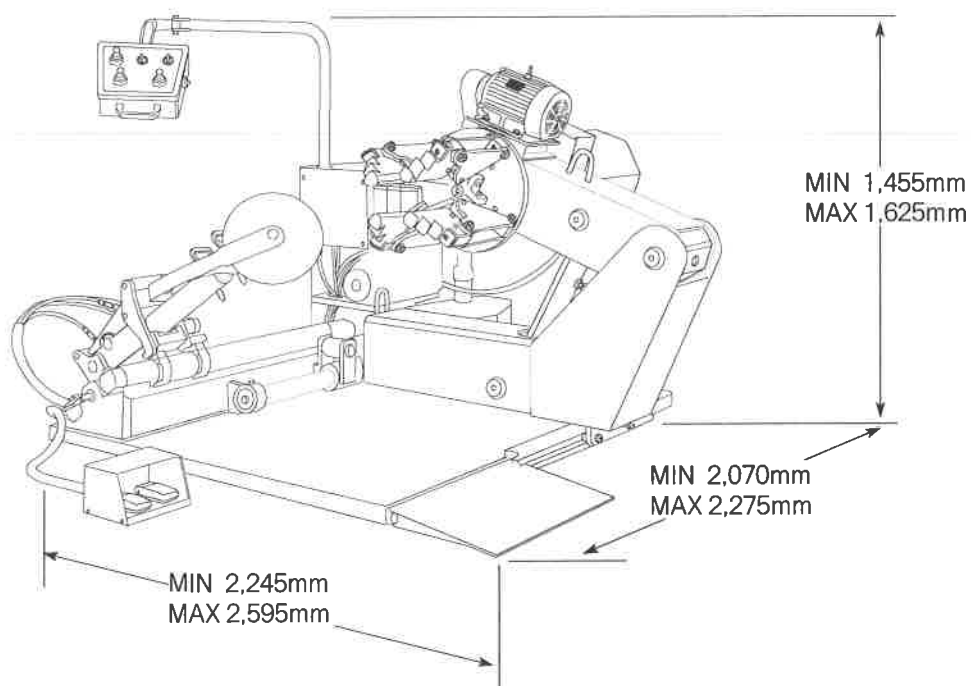


逆相に配線されるとポンプが油を汲上げません。3本のうち何れか2本を入替えてください。

## 9.仕様

|              |                      |
|--------------|----------------------|
| 電 源          | 三相 AC 200 V、50/60 Hz |
| 油 圧 ポンプ モーター | 1.13kW、4 P           |
| タイヤ回転モーター    | 2.2kW、4 P            |
| 適 応 ホイール サイズ | 16"~45"              |
| 最 大 タイヤ 直 径  | 2,200mm              |
| 最 大 タイヤ 幅    | 900mm                |
| タイヤ 回 転 速 度  | 三段変速(4・6・9 rpm)      |

### 本体寸法



### ●標準付属品

- 2. バルブ抜きレバー ----- 1
- 3. ビードシートクランプ ----- 2
- 4. マウントクランプ ----- 1
- 5. チャックエクステンションバー ----- 4
- 6. アルミホイール用アタッチメント(T B 8穴用、 6穴用) ----- 各 1

### ●オプション

- 1. ビードローラー ----- 1
- 2. アルミホイール用アタッチメント(T B 10穴用) ----- 1

## 10. 製品保証規定

### (1) 保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内(納入後1年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する故障は補償いたしません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合(例：型式及び機体番号の連絡が無い場合 e t c)。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



### 注 意

**このチェンジャーは屋外設置及び防水仕様になっておりませんので、錆、腐食、漏電等の水による故障は保証いたしておりません。**

### (2) 保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上の販売会社にご一報ください。必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

### (3)アフターサービスについて

|                                                         |                                                       |
|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 調子の悪いとき                                                 | この取扱説明書の8項の故障と処置欄をご覧ください。                             |
| それでも調子の悪いときは                                            | 商品保証規定に従い修理をさせていただきますので、お買上販売会社へ修理を依頼してください。          |
| 保証期間中の修理について                                            | 保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。         |
| 保証期間後の修理について                                            | お買上販売会社にご相談下さい。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理いたします。 |
| アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上販売会社にお問い合わせ下さい。             |                                                       |
| お問い合わせいただく際は、次のことをお知らせ下さい。型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)。 |                                                       |

上記の事項を下表に記録しておくとお問い合わせの時便利です。

|           |         |
|-----------|---------|
| 型 式       |         |
| 機 体 番 号   |         |
| 購 入 年 月 日 | 年 月 日   |
| 販 売 会 社   | 社 名 担当者 |
|           | 住 所 電 話 |
| 設 置 業 者   | 社 名 担当者 |
|           | 住 所 電 話 |
| 故障日・状況    | 年 月 日   |
|           | 年 月 日   |
|           |         |
|           |         |

### (4)設置(据付)及び移設について

本製品の設置(据付)及び移設は、お買上の販売会社へ依頼してください。

移設の場合は販売会社による点検を実施してください。

## 取扱説明書

品 名 ビッグマスター

型 式 **OR-707TA** 型

|             |                   |
|-------------|-------------------|
| 初 版 発 行 月 日 | 平 成 15 年 12 月 1 日 |
|-------------|-------------------|

|             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 改 訂 発 行 月 日 | 平 成      年      月      日 |
|-------------|--------------------------|

|             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 改 訂 発 行 月 日 | 平 成      年      月      日 |
|-------------|--------------------------|

|             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 改 訂 発 行 月 日 | 平 成      年      月      日 |
|-------------|--------------------------|

|             |           |
|-------------|-----------|
| 編 集 兼 発 行 者 | 機 工 技 術 部 |
|-------------|-----------|

|                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| 発                      行 | 小 野 谷 機 工 株 式 会 社 |
|--------------------------|-------------------|

無断複写・掲載を禁ず。

## **ONODANI 小野谷機工株式会社**

本社／福井県越前市家久町63-1 ☎(0778)22-2124代

|        |                |     |                |
|--------|----------------|-----|----------------|
| 営業所／札幌 | ☎(011)791-8588 | 新潟  | ☎(025)281-8251 |
| 仙台     | ☎(022)255-7408 | 名古屋 | ☎(052)354-1021 |
| 秋田     | ☎(018)864-7875 | 大阪  | ☎(06)6701-7315 |
| 東京     | ☎(03)5970-6011 | 福岡  | ☎(092)582-6743 |

「販売会社又は施工業者の方へのお願い」  
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。